

令和5年4月28日14時00分
近畿地方整備局
(※公益社団法人日本河川協会 同時発表)

令和5年河川功労者表彰の受賞者が決定しました。
～近畿地方の河川(ダム・砂防含む。)にゆかりのある14名、2団体が受賞～

長年にわたり樋門操作に従事されるなどの河川功労者に対して、公益社団法人日本河川協会から表彰が行われます。今年の表彰者の総数は、全国で個人63、団体30、合計93で、近畿地方の河川(ダム・砂防含む。)にゆかりのある14名、2団体が受賞されます。

- 近畿地方の河川(ダム・砂防含む。)にゆかりのある個人・団体が受賞されるのは、以下の方々です。(敬称略)

【個人】

| | |
|-----------------|----------------|
| ・ 杣川 光孝 | ・ 日下 恒春 |
| ・ 北川 進洋 | ・ 岡 二三生 |
| ・ 四方 善次 | ・ 澤井 健二 |
| ・ 四方 久雄 | ・ 椎葉 充晴 |
| ・ 清水 倉蔵 | ・ 中瀬 勳 |
| ・ 田中 茂富 | ・ 江崎 保男 |
| ・ 駒井 進一郎 | ・ 服部 保 |

【団体】

・**東綾小**・中一貫校
・**上林小**・中一貫校

- 表彰式

日時：令和5年6月5日(月) 15:50～

場所：砂防会館別館 シェーンバツハ・サボー

東京都千代田区平河町2-7-4 (TEL 03-3261-8386)

※当日の取材にあたっては、報道者席が用意されます。

※感染症の状況及び国の方針等により、開催方法が変更になる場合があります。

※参考として、公益社団法人日本河川協会の発表資料を添付しております。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局

河川部 河川情報管理官 こ て ら 小寺 し ゅ う じ 秀治 (内線3514)

河川部 水政課長 う え 宇恵 こ う い ち ろ う 弘一郎 (内線3551)

T E L 06-6942-1141(代表) 06-6942-0137(水政課 直通)

公益社団法人 日本河川協会では、昭和24年から河川に対する国民の理解を深めるため、同協会の河川功労者表彰規程に定める事項に該当する個人及び団体について、毎年、河川功労者表彰を行っています。

表彰者は、都道府県、国土交通省地方整備局等及び河川関係団体等から推薦を行い、日本河川協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定されています。

令和5年に近畿地方の河川(ダム・砂防含む。)にゆかりのある個人・団体で受賞されるのは、以下の14名と2団体の方々です。

| | |
|-----------|--|
| 氏名 | そまかわ みつたか 杣川 光孝 |
| 職業 | 団体役員 |
| 功績等 | 平成29年に「川上ダム建設促進期成同盟会」の会長に就任以来、総会等を通じて地元伊賀市との連絡調整に尽力され、要望活動や関係者調整等川上ダム建設促進に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合 |
| 住所 | 三重県伊賀市 |

| | |
|-----------|--|
| 氏名 | きたがわ のぶひろ 北川 進洋 |
| 職業 | — |
| 功績等 | 昭和61年から長年にわたり、九頭竜川水系芳野川樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合 |
| 住所 | 福井県福井市 |

| | |
|-----------|--|
| 氏名 | しかた ぜんじ 四方 善次 |
| 職業 | 自営業 |
| 功績等 | 昭和54年から長年にわたり、由良川水系由良川里第二樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合 |
| 住所 | 京都府綾部市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | しかた ひさお 四方 久雄 |
| 職業 | 自営業 |
| 功績等 | 昭和61年から長年にわたり、由良川水系由良川位田第二樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合 |
| 住所 | 京都府綾部市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | しみず くらぞう 清水 倉蔵 |
| 職業 | 建設業 |
| 功績等 | 昭和60年から長年にわたり、由良川水系由良川味方第二樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合 |
| 住所 | 京都府綾部市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | たなか しげとみ 田中 茂富 |
| 職業 | 農業・自営業 |
| 功績等 | 昭和59年から長年にわたり、円山川水系下鶴井川下鶴井樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合 |
| 住所 | 兵庫県豊岡市 |

| | |
|-----------|--|
| 氏名 | こまい しんいちろう 駒井 進一郎 |
| 職業 | — |
| 功績等 | 昭和61年から長年にわたり、新宮川水系市田川・市田川水門、市田川排水機場の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合 |
| 住所 | 和歌山県新宮市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | くさか つねはる 日下 恒春 |
| 職業 | — |
| 功績等 | 平成12年に大和川右岸水防事務組合瓜破分団に入団以来、長年にわたり水防活動に従事し、平成26年からは分団長として、卓越した指導力をもって分団員を統率し、若年団員の育成に努める等防災教育に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合 |
| 住所 | 大阪府大阪市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | とうりょう 東綾小・中一貫校 |
| 功績等 | 15年以上にもわたり、市民団体・地域住民・関係機関等と連携し、地域を流れる上林川の水生生物調査を実施するとともに、「学びの発表会」において、地域住民を始めとした幅広い人々に発信することで河川愛護意識の醸成に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合 |
| 住所 | 京都府綾部市 |

| | |
|-----------|--|
| 氏名 | かんばやし 上林小・中一貫校 |
| 功績等 | 15年以上にもわたり、市民団体・地域住民・関係機関等と連携し、地域を流れる上林川の水生生物調査を実施するとともに、「上林フェスティバル」において、地域住民を始めとした幅広い人々に発信することで河川愛護意識の醸成に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合 |
| 住所 | 京都府綾部市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | おか ふ さ お 岡 二三生 |
| 職業 | 京都大学名誉教授 |
| 功績等 | 地盤工学等の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、淀川堤防強化検討委員会の委員長などを歴任し、河川堤防の強化対策に貢献されたほか、関西圏地盤研究会の顧問を務め、社会基盤整備の推進に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合 |
| 住所 | 滋賀県大津市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | さわい けんじ 澤井 健二 |
| 職業 | 摂南大学名誉教授 |
| 功績等 | 水工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、淀川水系流域委員会委員、桂川河川保全利用委員会委員などを歴任し、河川整備計画の策定や適切な河川利用の推進に貢献されたほか、市民活動等を通じて、社会基盤整備の推進に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合 |
| 住所 | 京都府京都市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | しいば みちはる 椎葉 充晴 |
| 職業 | 京都大学名誉教授 |
| 功績等 | 水工水理学・水文学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、熊野川流域懇談会委員長、近畿地方整備局ダムフォローアップ委員会委員長等を歴任し、河川整備計画策定に貢献されたほか、日本学術会議 河川流出モデル・基本高水評価検討等分科会副委員長を務めるなど、社会基盤整備の推進に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合 |
| 住所 | 京都府京都市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | なか せ いさお 中瀬 勳 |
| 職業 | 兵庫県立大学 人と自然の博物館館長 |
| 功績等 | 造園学・景観計画等の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、加古川流域委員会委員長等を歴任し、河川整備計画の策定等に貢献されたほか、国土交通省水資源開発分科会淀川部会委員等を務めるなど、社会基盤整備の推進に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合 |
| 住所 | 大阪府高槻市 |

| | |
|-----------|---|
| 氏名 | えざき やすお 江崎 保男 |
| 職業 | 兵庫県立大学名誉教授 |
| 功績等 | 動物生態学者として円山川における自然再生事業が、地域の生物多様性回復につながり、これがコウノトリの野生復帰として示される形で結実するまでの過程において、生態学と河川工学との連携、行政と市民活動との調整に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合 |
| 住所 | 兵庫県神戸市 |

| | |
|-----------|--|
| 氏名 | はっとり たもつ 服部 保 |
| 職業 | 兵庫県立大学名誉教授 |
| 功績等 | 植物生態学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、円山川流域委員会委員、加古川流域委員会委員、淀川環境委員会委員等を歴任し、河川における生物多様性保全や河川整備計画の策定に貢献するとともに、社会基盤整備の推進と河川環境の保全に貢献された。 |
| 表彰規程の該当条項 | 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合 |
| 住所 | 兵庫県伊丹市 |

<公益社団法人 日本河川協会 河川功労者表彰規程(抜粋)>

第2条 表彰は、次の各号に掲げる事項について功績のあった個人又は団体について行う。

- (1) 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与すること。
- (2) 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献すること。
- (3) 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等。
- (4) 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動。
- (5) 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめること。
- (6) 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等による新しい文化の創造。
- (7) 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化。
- (8) その他本会の発展に顕著な貢献をする等特に表彰が必要と認められた場合。

河川功労者表彰の趣旨・制度に関するお問い合わせはこちら

公益社団法人 日本河川協会 担当:志賀、小島
TEL:03-3238-9771
FAX:03-3288-2426

令和5年4月28日
公益社団法人 日本河川協会

令和5年河川功労者の決定及び表彰について

令和5年河川功労者が決定いたしました。
河川功労者の表彰については、令和5年度日本河川協会定時社員総会において行います。
なお、当日の取材にあたっては、報道者席を用意しております。

< 表彰式 >

日 時 : 令和5年6月5日(月) 15時50分から
(定時社員総会は、13時30分から)

場 所 : 砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー

※感染症の状況及び国の方針等により、
開催方法を変更する場合には改めてご連絡いたします。

記

1. 令和5年河川功労者表彰について ----- 資料-1
2. 令和5年河川功労者表彰者名簿 ----- 資料-2

*過去の表彰式については、下記ホームページをご参照ください。
https://www.japanriver.or.jp/information/2022_kourousya-2.ht

【問合せ先】

公益社団法人 日本河川協会
〒102-0083
東京都千代田区麴町2-6-5
麴町E.C.Kビル 3F
担当：志賀、小島
電話：03-3238-9771
FAX：03-3288-2426

令和5年河川功労者表彰について

1. 公益社団法人 日本河川協会では、昭和24年から河川に対する国民の理解を深めるため、当協会の河川功労者表彰規程に定める下記事項に該当する個人及び団体について、毎年、定時社員総会において河川功労者表彰を行っております。
2. 表彰者は、都道府県、国土交通省地方整備局等及び河川関係団体等からご推薦いただき、当協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定しています。
3. 令和5年の河川功労者は、資料－2のとおりです。
表彰者の総数は、個人63、団体30、合計93の個人及び団体となっております。
4. これにより、令和5年までの表彰者は、4,340の個人及び団体となります。

記

- 第1号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合
- 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
- 第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合
- 第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
- 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
- 第6号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
- 第7号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合
- 第8号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合

令和5年河川功勞者表彰者名簿

公益社団法人 日本河川協会

令和 5 年河川功勞者表彰総括表

| 事 項 | 個 人 | 団 体 | 計 |
|---|-----|-----|----|
| 第 1 号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合 | | | 0 |
| 第 2 号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合 | 33 | | 33 |
| 第 3 号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合 | 7 | 1 | 8 |
| 第 4 号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合 | 2 | 28 | 30 |
| 第 5 号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合 | 21 | | 21 |
| 第 6 号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合 | | 1 | 1 |
| 第 7 号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合 | | | 0 |
| 第 8 号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合 | | | 0 |
| 合 計 | 63 | 30 | 93 |

令和5年河川功労者表彰者名簿

第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合

(個人33)

| 氏名 | 職業 | 功績等 | 住所 |
|----------------------|-----------------|--|-------------|
| かめ やま ひろし 亀山 紘 | 前石巻市長 | 東日本大震災により甚大な被害を受けた旧北上川河口部の復旧復興事業計画立案や復旧復興事業における堤防整備に石巻市長として尽力され、更に整備後の堤防利活用のための利活用方法や推進体制の整備に貢献された。 | 宮城県石巻市 |
| あら い じゅ いち 新井 寿一 | 農業 | 平成22年3月小海町長に就任以来、平成30年3月の退任に至るまで地方自治の発展に尽力し、各種団体の要職を歴任する中、長野県河川協会会長としても河川事業に積極的に取り組み、国土の保全や住民の生命財産の安全の確保に貢献された。 | 長野県南佐久郡小海町 |
| から さわ かず ひろ 唐澤 一寛 | 会社役員 (前木祖村長) | 昭和53年から木祖村役場の建設課長等として、味噌川ダム建設事業の推進に尽力されるとともに、副村長及び村長として水源地域の環境保全と地域振興にも寄与されるなど、上下流域の良好な関係の構築と維持に貢献された。 | 長野県木曾郡木祖村 |
| そま かわ みつ たか 柚川 光孝 | 団体役員 | 平成29年に「川上ダム建設促進期成同盟会」の会長に就任以来、総会等を通じて地元伊賀市との連絡調整に尽力され、要望活動や関係者調整等川上ダム建設促進に貢献された。 | 三重県伊賀市 |
| なか はら つる み 中原 鶴見 | 会社員 | 九州地方の河川事業の技術的指導及び河川災害の防止に尽力されるとともに、「九州河川技術伝承会」に参画し、災害復旧工法や多自然川づくりの指導・助言を行うなど、実務担当者の技術力向上、河川技術の継承にも寄与し、河川整備の推進に貢献された。 | 佐賀県佐賀市 |
| ひ だか まさ かつ 日高 政勝 | 前さつま町長 | 平成21年にさつま町長に当選以来長年にわたり、「川内川水系かわまちづくり」を推進するとともに、川内川下流改修期成会副会長として、川内川流域の治水事業の促進にも尽力されるなど、流域の安心・安全の確保と地域活性化に貢献された。 | 鹿児島県薩摩郡さつま町 |
| たて だ とし あき 館田 敏明 | 自動車解体業 | 昭和56年から長年にわたり、岩木川水系平川の平川第四排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 青森県弘前市 |
| あ べ こう じ 阿部 公司 | 自営業 | 昭和48年から長年にわたり、北上川水系中津川の中津川第1排水樋管の水門等水位観測員として施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 岩手県盛岡市 |
| ち だ たみ お 千田 民男 | 自営業 | 昭和55年から長年にわたり、北上川水系北上川の鬼柳相去排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 岩手県北上市 |
| ち ば のぼる 千葉 昇 | — | 昭和55年から長年にわたり、北上川水系黄海川の川口沖排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 岩手県一関市 |
| いた がき たかし 板垣 隆 | — | 昭和45年から長年にわたり、赤川水系赤川の畑田排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 山形県鶴岡市 |
| さ とう はじめ 佐藤 肇 | 農業 | 昭和48年から長年にわたり、赤川水系赤川の大半田排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 山形県鶴岡市 |
| み うら せい じ 三浦 清二 | — | 昭和48年から長年にわたり、最上川水系最上川の山寺排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 山形県酒田市 |
| か とう かつ ひろ 加藤 勝博 | 農業 | 昭和53年から長年にわたり、最上川水系最上川の本堀内第一排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 山形県最上郡舟形町 |
| お の しげ み 小野 繁美 | 農業 | 昭和53年から長年にわたり、最上川水系金山川の安久土排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 山形県最上郡真室川町 |
| さ とう ひさし 佐藤 久 | 会社員 | 昭和53年から長年にわたり、最上川水系真室川の木ノ下排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 山形県最上郡真室川町 |
| たいら ふ じ お 平 富士雄 | — | 昭和53年から長年にわたり、最上川水系最上川の橋向排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 山形県東置賜郡高島町 |

| 氏 名 | 職 業 | 功 績 等 | 住 所 |
|----------------------------|-----------|---|------------|
| ほん ま ふみ お 本 間 文 雄 | 農 業 | 昭和48年から長年にわたり、赤川水系赤川の西谷地排水樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 山形県東田川郡三川町 |
| そめ や しげる 染 谷 茂 | 農 業 | 平成3年から長きにわたり、利根川水系利根川田中調節池早瀬樋管の樋管操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 千葉県柏市 |
| はや かわ なお き 早 川 尚 紀 | 団 体 職 員 | 平成6年から長年にわたり、信濃川水系信濃川敦ヶ曾根樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 新潟県長岡市 |
| まつ い ひろ み 松 井 浩 美 | 農 業 | 平成5年から長年にわたり、信濃川水系魚野川ケルミ沢川樋管の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 新潟県魚沼市 |
| きた がわ のぶ ひろ 北 川 進 洋 | — | 昭和61年から長年にわたり、九頭竜川水系芳野川樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 福井県福井市 |
| さわ ふじ えつ お 澤 藤 悦 男 | 農 業 | 平成14年から長年にわたり、大垣市横曽根排水機場の運転責任者として、施設の管理・操作に従事し、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 岐阜県大垣市 |
| もり じ いち 森 司 一 | — | 平成4年から長年にわたり、木曾川水系犀川第二排水機場の操作員として、また平成19年からは、犀川第三・統合排水機場の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時においては昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 岐阜県瑞穂市 |
| たか ぎ さだ お 高 木 定 夫 | 自 営 業 | 平成16年から長年にわたり、木曾川水系揖斐川安八南部排水機場及び中須川排水機場の操作員として、点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 岐阜県安八郡安八町 |
| し かた ぜん じ 四 方 善 次 | 自 営 業 | 昭和54年から長年にわたり、由良川水系由良川里第二樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 京都府綾部市 |
| し かた ひさ お 四 方 久 雄 | 自 営 業 | 昭和61年から長年にわたり、由良川水系由良川位田第二樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 京都府綾部市 |
| し みず くら ぞう 清 水 倉 蔵 | 建 設 業 | 昭和60年から長年にわたり、由良川水系由良川味方第二樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 京都府綾部市 |
| た なか しげ とみ 田 中 茂 富 | 農 業・自 営 業 | 昭和59年から長年にわたり、円山川水系下鶴井川下鶴井樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 兵庫県豊岡市 |
| こま い しん いち ろう 駒 井 進 一 郎 | — | 昭和61年から長年にわたり、新宮川水系市田川・市田川水門、市田川排水機場の操作員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 和歌山県新宮市 |
| よし もと なお き 吉 本 直 樹 | 農 業 | 昭和56年から長年にわたり、物部川水系物部川後川樋門の水門等水位観測員として、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 高知県南国市 |
| さい とう つたえ 齊 藤 傳 | 農 業 | 平成16年から長年にわたり、前川排水機場の操作員として施設の点検・整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜問わず速やかな操作を行うなど災害の軽減に貢献された。 | 佐賀県鳥栖市 |
| ふた き こう いち ろう 二 木 康 一 郎 | 会 社 員 | 平成15年から長年にわたり、荒瀬川の陸閘・樋門の操作人を務め、施設の点検整備を定期的に行い、かつ洪水時には昼夜を問わず速やかな操作を行うなど、災害の軽減に貢献された。 | 鹿児島県肝属郡肝付町 |

第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合

(個人7)

| 氏名 | 職業 | 功績等 | 住所 |
|-------|-----|---|----------|
| 伊藤 博美 | — | 平成8年に岐阜市京郷水防団へ入団以降、長年にわたり水防活動に従事し、平成30年からは団長として水害から地域住民の生命・財産を守るため、被害の防止と軽減及び水防活動の啓発に貢献された。 | 岐阜県岐阜市 |
| 市川 弘之 | 会社員 | 平成12年旧浜北市水防団第6分団に入団以来、長年にわたり水防活動に従事し、令和4年からは副団長として豊富な知識と経験、優れた統率力により、地域防災の第一線で住民の生命と財産の安全確保に貢献された。 | 静岡県浜松市 |
| 平田 文彦 | 自営業 | 平成10年浜松市水防団中ノ町分団に入団以来、部長、副分団長を経て、平成22年からは分団長として、豊富な知識と経験、優れた統率力と温厚な人柄により、被害の防止と軽減及び水防活動の啓発に貢献された。 | 静岡県浜松市 |
| 谷口 隆太 | 会社員 | 平成10年から長年にわたり、狩野川資料館ガイドボランティア代表として活躍し、来館者をはじめ地域の小学校で講話を行うなど狩野川台風の実体験を伝え避難の重要性について語り続け、防災教育に貢献された。 | 静岡県伊豆の国市 |
| 日下 恒春 | — | 平成12年に大和川右岸水防事務組合瓜破分団に入団以来、長年にわたり水防活動に従事し、平成26年からは分団長として、卓越した指導力をもって分団員を統率し、若年団員の育成に努める等防災教育に貢献された。 | 大阪府大阪市 |
| 田村 猛 | 会社員 | 平成19年から四国地方防災エキスパートとして、吉野川及び那賀川水系の関係市町における消防団員等への水防工法の施工技術の指導を行い、水防知識、工法及び技能の伝承に貢献された。 | 徳島県阿南市 |
| 三谷 健 | — | 平成14年から四国地方防災エキスパートとして、土器川水系における関係市町の消防団員等へ水防工法の施工技術の指導を行い、水防知識、工法及び技能の伝承に貢献された。 | 香川県高松市 |

(団体1)

| 名称 | 功績等 | 住所 |
|------------------|---|--------|
| 小河原・上深川地区社会福祉協議会 | 昭和40年6月の豪雨災害の写真を集会所に掲示するとともに、平成30年7月豪雨災害の被災状況を伝える自然災害伝承モニュメントを制作・屋外展示し、防災意識の啓発のための勉強会を行い、住民同士が共助する避難体制を構築する等河川防災意識の醸成に努められるなど、地域防災力の向上及び災害時の被害軽減に貢献された。 | 広島県広島市 |

第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合

(個人2)

| 氏名 | 職業 | 功績等 | 住所 |
|--------|----------|---|--------|
| 相楽 治 | 団体役員 | 長年にわたり鳥屋野潟を通じた総合学習として、美しい水辺づくりや水辺の環境改善に寄与するとともに、親子参加による防災模擬体験の指導を行うなど、河川環境保全と河川愛護活動に貢献された。 | 新潟県新潟市 |
| 山縣 耕太郎 | 上越教育大学教授 | 自然地理学及び防災教育の専門家として、令和2年より関川流域委員会、新潟県・上越市・糸魚川市の各委員会において的確な指導及び技術的助言を行い、平成27年度からは地元小学生を対象とした出前講座の講師を務めるなど、防災教育の啓発及び河川愛護意識の醸成に貢献された。 | 新潟県上越市 |

(団体28)

| 名称 | 功績等 | 住所 |
|---------------|--|--------|
| 砂川市衛生組合 | 昭和33年の設立以来長年にわたり、市内の環境美化活動を実施し、昭和47年からはパンケ歌志内川の河川清掃活動を継続して実施しており、河道内の流木撤去をはじめ、草刈りや清掃等を行い、河川環境美化及び河川愛護活動に貢献された。 | 北海道砂川市 |
| 特定非営利活動法人オアシス | 平成14年の設立以来長年にわたり、自然環境及び生活環境の保全・整備を目指し、パンケ歌志内川にある親水施設の清掃や花壇への植栽を継続して実施し、河川環境の美化及び河川愛護活動に貢献された。 | 北海道砂川市 |

| 名 称 | 功 績 等 | 住 所 |
|--|---|------------|
| NPO法人しりべつリバーネット | 平成8年の設立以来、流域住民が参加する河川清掃活動「尻別川クリーン作戦」を毎年実施し、清掃活動は陸上だけでなくカヌー等を利用した水上の清掃も行うなど実施方法も工夫され、また、長年の講演会等の取り組みにより、尻別川流域の河川環境の保全や河川愛護意識の醸成に貢献された。(平成27年3月河川協力団体指定) | 北海道虻田郡ニセコ町 |
| 美しい山形・最上川フォーラム <small>もがみがわ</small> | 平成13年の設立以来長年にわたり、最上川を美しい県土づくり運動のシンボルに掲げ、川や水辺の健康診断・クリーンアップキャンペーン・スポGOMI大会など様々な活動を継続して行い、河川環境の保全や河川愛護意識の高揚に貢献された。 | 山形県山形市 |
| さと <small>がわ</small> 里川をきれいにする会 | 平成19年4月の設立以来長年にわたり、里川水辺空間の河川敷及び道路周辺において、除草・雑木の伐採及びゴミ除去等の清掃美化活動を年4回継続して実施し、地域の河川美化等に貢献された。 | 茨城県日立市 |
| きた <small>ね</small> 北ノ根自治会 | 昭和30年に設立以来長年にわたり、城里町小勝区内を流れる北ノ根川河川敷の除草・雑木・篠・竹・ゴミなどの除去を行うなど、河川環境の美化に貢献された。 | 茨城県東茨城郡城里町 |
| 特定非営利活動法人 水辺基盤協会 | 平成17年の設立以来長年にわたり、霞ヶ浦湖岸において清掃活動を精力的に実施するとともに、水生植物を増やす取り組みや生物観察・子供達の魚釣り体験を通じた自然環境教育や指導者育成、広報活動を行うなど、水辺環境の保全と啓発に貢献された。(平成26年3月河川協力団体指定) | 茨城県稲敷郡美浦村 |
| 一般社団法人栃木県建設業協会 <small>はが</small> 芳賀支部 | 平成19年に「愛リバーとちぎ」実施団体として県から認定以来長きにわたり、五行川において、毎年複数回除草・清掃活動を定期的に行うなど、河川環境美化等に貢献された。 | 栃木県真岡市 |
| 鈴木建設株式会社 (つくし隊) | 平成17年に「愛リバーとちぎ」実施団体として県から認定以来長きにわたり、富山川において、毎年複数回除草・清掃活動を定期的に行うなど、河川の美化活動等に貢献された。 | 栃木県那須郡那珂川町 |
| ほん <small>じょう</small> 本庄市立 <small>きょう わ</small> 共和小学校 | 平成20年に水辺の里親制度の協定を結んで以来、環境教育の一環として女堀川の清掃活動を地域の協力を得ながら実施するとともに、水質検査を行うなど河川環境の保全や河川の環境美化活動に貢献された。 | 埼玉県本庄市 |
| こ <small>ま がわ</small> 高麗川ふるさとの会 | 平成15年の設立以来長年にわたり、高麗川の河川敷の草刈り・河川清掃など水辺の環境整備を定期的に行い、良好な河川環境の維持に貢献されるとともに、野鳥調査や植生観察会を開催し、活動状況等を「こまがわニュース」として報告するなど、河川美化及び河川愛護意識の高揚に貢献された。(平成26年3月河川協力団体指定) | 埼玉県坂戸市 |
| つど <small>みず べ</small> 集いのまほろば水辺愛護会 | 平成10年の設立以来、長年にわたり「集いのまほろば」という阿久和川の水辺拠点の清掃・除草を毎月行っているほか、地域の憩いの場として、トイレの清掃や花壇の手入れを毎週行っており、周辺住民の河川愛護精神の醸成に貢献された。 | 神奈川県横浜市 |
| 黒部市立 <small>わか くり</small> 若栗小学校 | 平成16年より長年にわたり、黒部川河川敷掲示用の不法投棄等防止啓発ポスターの作成に取り組み黒部川の河川敷に掲示するなど、河川愛護意識の向上及び河川環境の保全に貢献された。 | 富山県黒部市 |
| しも <small>で ら</small> 下手良河川愛護会 | 平成7年の設立以来長きにわたり、区内を流れる瀬沢川で草刈り、ゴミ拾い、アレチウリ駆除等を通して、地域の環境美化および住民の河川愛護意識の向上に貢献された。 | 長野県伊那市 |
| ま <small>やま</small> 間山河川愛護会 | 昭和45年の設立以来長年にわたり、一級河川真引川及び普通河川十二川において、毎年、区民が参加して河川敷内の清掃及び草刈り等の河川美化、河川愛護活動を実施するなど、河川周辺の環境整備に貢献された。 | 長野県中野市 |
| たち <small>かわ</small> 立川 <small>じょう</small> 常 <small>かい</small> 会 | 昭和50年の設立以来長きにわたり、東条川の草刈り及び河川清掃等の活動を実施しており、地域の環境美化および住民の河川愛護意識の向上に貢献された。 | 長野県東筑摩郡筑北村 |
| や <small>ぎ さわ がわ</small> 八木沢川河川愛護会 | 昭和40年の設立以来、長年にわたり一級河川八木沢川において、河川敷内の雑草木刈払い、清掃及び土砂上げ等の河川愛護活動を実施し、河川環境美化に貢献するとともに地域住民の環境美化意識の高揚に貢献された。 | 長野県上高井郡高山村 |
| いけ <small>じり</small> 池尻長寿会 | 昭和63年の設立以来長年にわたり、長良川において河川の草刈りや清掃、花壇整備等の環境美化活動を継続的に実施し、地域の河川愛護活動と環境美化に貢献された。 | 岐阜県関市 |
| とう <small>りょう</small> 東綾小・中一貫校 | 15年以上にもわたり、市民団体・地域住民・関係機関等と連携し、地域を流れる上林川の水生生物調査を実施するとともに、「学びの発表会」において、地域住民を始めとした幅広い人々に発信することで河川愛護意識の醸成に貢献された。 | 京都府綾部市 |
| かん <small>ばやし</small> 上林小・中一貫校 | 15年以上にもわたり、市民団体・地域住民・関係機関等と連携し、地域を流れる上林川の水生生物調査を実施するとともに、「上林フェスティバル」において、地域住民を始めとした幅広い人々に発信することで河川愛護意識の醸成に貢献された。 | 京都府綾部市 |
| まつ <small>え</small> 松江市立 <small>み ほのせき</small> 美保関小学校 | 平成24年度から長年にわたり中海流入河川調査に参加し、中海をテーマにした総合学習においては、水質調査やゴミ拾いの活動を通して、河川環境保全や児童達の河川愛護意識の高揚に貢献された。 | 島根県松江市 |
| い <small>ずも</small> 出雲市立 <small>い の</small> 伊野小学校 | 平成22年度から長年にわたり、宍道湖流入河川の伊野川において、水質や生物調査を行い、学習発表会での児童や地域住民に向けた「地域の川を守っていこう」という呼びかけや、河川の清掃活動を実施するなど、河川愛護意識の醸成に貢献された。 | 島根県出雲市 |

| 名 称 | 功 績 等 | 住 所 |
|--------------------------------|--|------------|
| しのば 東 自治会 | 平成20年の設立以来長年にわたり、深谷川の除草や清掃活動を継続して実施しており、河川環境の美化に貢献された。 | 愛媛県新居浜市 |
| こが 町 自治会 有志 | 平成27年から八郎川の河川管理道路沿いにあじさいを植林し、花の手入れ・土手の草刈りを広範囲で行う等、河川環境の美化や河川愛護活動に貢献された。 | 長崎県長崎市 |
| とみあいまちきよふじ 富合町清藤地区自治会老人クラブ 松葉会 | 平成22年の設立以来、長年にわたり浜戸川の河川敷の清掃・除草や植栽の手入れを行う河川美化活動を継続して実施し、良好な河川環境の保全並びに地域住民に対する河川愛護意識の高揚に貢献された。 | 熊本県熊本市 |
| じせだい 次世代のためにがんばる会 | 平成13年の設立以来長年にわたり、八代市を拠点として琢磨川における河川環境・愛護活動を継続して行うとともに、次世代を担う子供たちへの環境・歴史・防災教育等を実施することにより、河川環境保全や河川愛護意識の継承・活性化に貢献された。(平成26年3月河川協力団体指定) | 熊本県八代市 |
| なか 郡 愛 郷 会 | 平成3年の設立以来長年にわたり、矢形川の清掃や除草、植栽等の美化活動を継続して行うとともに、地元小学生向けの課外授業や川下りを実施し、河川環境の保全及び河川愛護意識の醸成に貢献された。 | 熊本県上益城郡嘉島町 |
| もと 組 公民館 女性部 | 昭和59年から長年にわたり、一級河川神代川において、川底清掃や草刈り、ゴミ拾い等の環境美化活動を実施し、かわまちづくりにも地域住民代表として参加するなど、河川環境の保全や地域における河川愛護意識の醸成に貢献された。 | 宮崎県高千穂町 |

第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合

(個人21)

| 氏 名 | 職 業 | 功 績 等 | 住 所 |
|---------------------|-----------------------|---|-----------|
| やす だ のぶ き 保 田 信 紀 | 団 体 役 員 | 昆虫の研究者として、約50年に渡り大雪山系及び石狩川流域の昆虫相の調査研究に従事され、顕著な研究成果をあげられるとともに、石狩川上流川づくり懇談会の委員、河川水辺の国勢調査アドバイザー等を務め、河川整備の推進、河川環境の保全に貢献された。 | 北海道上川郡上川町 |
| お ぐら のり お 小 倉 紀 雄 | 東京農工大学名誉教授 | 環境科学の第一人者として多くの業績を上げられたほか、市民との協働による河川水質の保全活動や、多自然川づくりに資する河川生態学術研究会等の発展に努められ、河川や河川環境管理に貢献された。 | 東京都日野市 |
| やす だ たか し 安 田 孝 志 | 岐阜大学並びに 愛知工科大学名誉教授 | 海岸・海洋工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、木曾三川下流部船舶対策協議会では会長として、不法係留船舶対策の策定及びその対策に寄与し、治水対策や河川環境の保全に貢献された。 | 神奈川県横浜市 |
| きた むら しん いち 北 村 真 一 | 山梨大学名誉教授 | 地域・都市計画、景観工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、狩野川流域懇談会委員や狩野川水系流域委員会委員及びリバーカウンセラーを務め、河川の計画等を検討する上で必要となる基礎情報の構築を通じて、河川の整備、河川景観検討等に貢献された。 | 山梨県甲斐市 |
| やま だ たつ み 山 田 辰 美 | 常葉大学名誉教授 | 応用生態学・保全生態学・環境教育学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、菊川水系流域委員会の副委員長として、河川整備計画の策定に寄与し、河川環境の整備と保全に貢献された。 | 静岡県藤枝市 |
| た なか まさ あき 田 中 正 明 | 四日市大学名誉教授 | 生物学、陸水学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、設楽ダム環境検討委員会の委員として、ダム建設に関する環境への影響や保全対策、環境影響評価に係る評価書等、ダム事業の推進に貢献された。 | 愛知県名古屋市 |
| おか ふ さ お 岡 二 三 生 | 京都大学名誉教授 | 地盤工学等の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、淀川堤防強化検討委員会の委員長などを歴任し、河川堤防の強化対策に貢献されたほか、関西圏地盤研究会の顧問を務め、社会基盤整備の推進に貢献された。 | 滋賀県大津市 |
| さわ い けん じ 澤 井 健 二 | 摂南大学名誉教授 | 水工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、淀川水系流域委員会委員、桂川河川保全利用委員会委員などを歴任し、河川整備計画の策定や適切な河川利用の推進に貢献されたほか、市民活動等を通じて、社会基盤整備の推進に貢献された。 | 京都府京都市 |
| しい ば みち はる 椎 葉 充 晴 | 京都大学名誉教授 | 水工水理学・水文学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、熊野川流域懇談会委員長、近畿地方整備局ダムフォローアップ委員会委員長等を歴任し、河川整備計画策定に貢献されたほか、日本学術会議 河川流出モデル・基本高水評価検討等分科会副委員長を務めるなど、社会基盤整備の推進に貢献された。 | 京都府京都市 |
| なか せ いさお 中 瀬 勳 | 兵庫県立大学 人と自然の博物館館長 | 造園学・景観計画等の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、加古川流域委員会委員長等を歴任し、河川整備計画の策定等に貢献されたほか、国土交通省水資源開発分科会淀川部会委員等を務めるなど、社会基盤整備の推進に貢献された。 | 大阪府高槻市 |
| みず やま たか ひさ 水 山 高 久 | 京都大学名誉教授 | 砂防学・山地保全学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、姫川水系流域委員会、姫川有識者会議の委員長等を務め、更に、姫川リバーカウンセラーを務めるなど、河川整備の推進に貢献された。 | 大阪府茨木市 |

| 氏名 | 職業 | 功績等 | 住所 |
|--------------------------|--------------------|---|-----------|
| え ぎ やす お 江 崎 保 男 | 兵庫県立大学名誉教授 | 動物生態学者として円山川における自然再生事業が、地域の生物多様性回復につながり、これがコウノトリの野生復帰として示される形で結実するまでの過程において、生態学と河川工学との連携、行政と市民活動との調整に貢献された。 | 兵庫県神戸市 |
| かど の やす ろう 角 野 康 郎 | 神戸大学名誉教授 | 生態学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、多自然型川づくりレビュー委員会委員や狩野川水系柿田川の柿田川自然再生検討会委員を務め、河川の計画等を検討する上で必要となる基礎情報の構築を通じて、河川の整備、河川環境の保全等に貢献された。 | 兵庫県神戸市 |
| はっ とり たもつ 服 部 保 | 兵庫県立大学名誉教授 | 植物生態学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、円山川流域委員会委員、加古川流域委員会委員、淀川環境委員会委員等を歴任し、河川における生物多様性保全や河川整備計画の策定に貢献するとともに、社会基盤整備の推進と河川環境の保全に貢献された。 | 兵庫県伊丹市 |
| なか ばやし みつ お 中 林 光 生 | 広島女学院大学名誉教授 | 鳥類の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、中国地方ダム等管理フォローアップ委員会や江の川水系河川整備計画の策定における学識懇談会の委員をはじめ、河川水辺の国勢調査アドバイザーを務め、河川整備の推進、河川環境の保全に貢献された。 | 広島県広島市 |
| もり え たか こ 森 江 堯 子 | 団体役員 | 水質環境分野の専門家として長きにわたり、小瀬川の各委員会への参画及び小瀬川水系河川整備計画の策定並びに進捗点検に至るまで、小瀬川水系の河川整備の推進及び河川管理等に貢献された。 | 山口県宇部市 |
| いし かわ たか こ 石 川 隆 子 | 病院職員 | 高齢福祉を専門として、豊富な経験を元に那賀川流域において様々な活動をされるとともに、那賀川水系河川整備計画の策定及び点検では「那賀川学識者会議」の委員として参画し、専門的な視点から助言を行い、河川行政の推進に貢献された。 | 徳島県阿南市 |
| ゆう き とよ かつ 湯 城 豊 勝 | 阿南工業高等専門学校 名誉教授 | 河川工学の専門家として、那賀川水系河川整備計画の策定及び点検では「那賀川学識者会議」議長として、また、県管理河川の河川整備計画等の策定では「とくしま川づくり委員会」の委員・委員長として、さらに那賀川総合土砂管理技術検討会の委員を務め、専門的視点から助言を行い、河川整備や河川行政の推進に貢献された。 | 徳島県那賀郡那賀町 |
| おお や の えい じ 大 矢 野 栄 次 | 久留米大学名誉教授 | 社会経済学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、九州地方ダム等管理フォローアップ委員会委員を務められ、管理ダムの水源地域動態や事業の効果等について様々な助言を頂くなど事業の評価分析に貢献された。 | 福岡県太宰府市 |
| なか の あきら 中 野 昭 | 大分工業高等専門学校 名誉教授 | 平成12年に大野川流域委員会委員へ就任以来長年にわたり、大分川・大野川水系学識者懇談会委員長及び番匠川水系学識者懇談会委員を務めるなど、河川整備の推進に貢献された。 | 大分県大分市 |
| あか し のぶ よし 赤 司 信 義 | 西日本工業大学名誉教授 | 河川工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、山国川学識者懇談会、耶馬溪ダム水源地域ビジョン推進機構委員会等の委員長、山国川治水対策検討委員会の委員を務め、山国川の河川整備の推進に貢献された。 | 大分県中津市 |

第6号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合

(団体1)

| 名称 | 功績等 | 住所 |
|--------------------------------------|---|--------|
| え ど が わ ま つ っ と 江戸川松戸フラワーライン実行委員会 | 平成7年より長年にわたり、江戸川河川敷の花畑の整備・維持を継続的に実施され、松戸市のみならず多くの方の憩いの場となるなど、河川愛護活動とともに良好な河川環境の保持・保全に努められるなど地域の活性化に貢献された。 | 千葉県松戸市 |